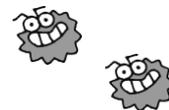


【新型コロナウイルス感染症…予防対策の再確認と徹底に御協力願います。】

1) 手洗いと咳エチケットの励行・徹底

- ・石けんでの手洗いやアルコール消毒液を用いた手指消毒を行うこと。



2) マスク着用の徹底

- ・マスクは、不織布の物を使用し鼻やあごの下まですき間なく着用すること。
- ・人と会話をする時は、必ずマスクを着用し唾やくしゃみ、咳等が飛沫しないように適度な距離を保つこと。
- ・食事の時は、「黙食」に努め会話を控えましょう。

3) 換気を心掛ける

- ・可能な限り、常時「換気」に努めること。換気の日安として「CO2モニター」を活用し、空気の入替えを行う。
(学校環境衛生基準では、1500ppmを基準としています。)

4) 栄養と睡眠の確保

身体の免疫力が低下すると、新型コロナウイルス感染症だけでなく、一般的な感染症(インフルエンザ含む)を引き起こすウイルスや菌に感染し発病しやすくなるため、栄養(バランスの良い食事)と質の良い睡眠(6時間以上)を確保し、日頃より体調を整えてウイルスや菌への抵抗力を高めておきましょう。

5) 健康観察の強化

- ・登校前の検温測定・スマホ入力と健康観察(発熱やかぜ症状等の有無)を行うこと。
- ・日頃から自身の体調変化に留意し、かぜ症状や体調不良等がある時は登校を控えましょう。



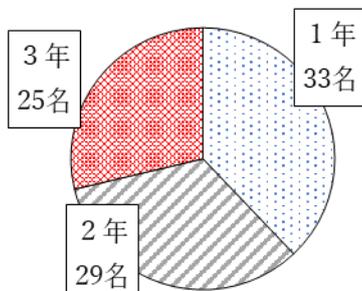
★注意 家庭内感染が広がっています。変異株(オミクロン株)は、非常に感染力が強いため、日頃から家族の体調管理にも留意しましょう。体調がすぐれない場合や風邪等の症状がある場合は、通院又は宮城県のコールセンターに相談してください。また、PCR検査の対象となった場合は、必ず学校にもお知らせください。

【県相談窓口(コールセンター) 022-398-9211】 *裏面参照

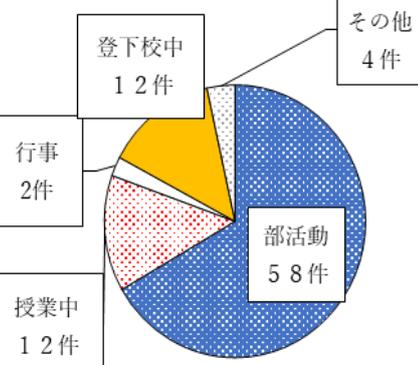
日本スポーツ振興センター(災害共済給付)新規利用状況 (R3.4月~R4.1月)



〈学年別発生件数〉



〈時間別発生件数〉



- ・1月までの新規の利用件数は、87件(男子:57件・女子:30件) 継続者も含めると約210件の給付がありました。
- ・部活動(運動部)での「ケガ」が7割近くを占めています。授業中はほぼ「体育授業」でのケガによるものです。
- ・登下校中は全て自転車通学による事故でした。(自動車事故は含みません。)
- ・疾病別…捻挫・骨折・挫傷・靭帯損傷・打撲が多かったです。(前年度同様)

この制度は、学校管理下(登下校時含む)において災害(負傷、疾病、傷害又は死亡)が発生した時に災害共済給付(医療費、障害見舞金又は死亡給付金)を負担する制度で、本校では全員が加入しています。

災害共済給付を受ける権利は、その給付事由が生じた日から2年間行わないと、時効により請求権がなくなります。ケガをして病院を受診したが、まだ申請していないという人は早めに保健室に連絡をしてください。

(領収書ではなく、専用の用紙になります。学校のHPからもダウンロードできます。)



家族が新型コロナウイルスに 感染した時に注意したいこと



1. 部屋を分ける



個室にしましょう!
部屋を分けられない場合は、2m以上の距離を保ったり、仕切りやカーテンの設置などをおすすめします。

2. 窓を開けて換気



定期的に換気しましょう。
共用スペースや他の部屋も窓を開けっ放しにするなど換気しましょう。

3. マスクを着用



マスクを隙間なくフィットさせ、正しく着用しましょう。

外す時は表面に触れないように紐部分を持ち、外した後は手洗いを。

4. こまめな手洗い 手で触れる部分を消毒



こまめに石鹸で手洗いし、アルコール消毒しましょう。
・ドアの取っ手、ベッド欄、トイレ、洗面台など共用部分を消毒しましょう。

※新型コロナウイルスの消毒・除菌方法につきましては、「新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について」を御参照ください。

5. 汚れたリネン・ 洋服を洗濯



汚れた衣服やリネンは、手袋とマスクを着用し、一般的な家庭用洗剤で洗濯し完全に乾かしてください。

6. ゴミは密閉して 捨てましょう



鼻をかんだティッシュ等は、すぐにビニール袋に入れ、室外に出すときは密閉して捨ててください。手洗いも忘れずに。

- お世話は出来る限り、限られた方で対応しましょう。**
心臓、肺、肝臓に持病のある方、糖尿病の方、免疫の低下した方、妊婦の方などが感染者のお世話をするのは避けて下さい。
- 療養者は外出を避けて下さい。**療養期間中は感染を広めてしまう可能性があります。
- ご家族、同居されている方も熱を測るなど健康観察をし、**
外出は避け、体調不良時は、登校や出勤をお控えください。

ゼロ密を目指す、こまめな手洗い、正しいマスクの着用を徹底しましょう

